

## 雑誌&amp;WEB交流会 広報調査委員会

## 「フェスタ」盛り上げに活発な提案

ファン雑誌・WEBメディアと広報調査委員会の第2回情報交換会が2月5日、東京・池袋の彩蔵池袋店で開かれた。ファン雑誌から3社6人、WEBメディアから7社10人、広報調査委員会から16人が出席した。

## 「共通の認識、同じ志」

冒頭、福山裕治委員長が業界の現状を説明し、「昨年12月25日、遊技くぎの問題で6団体共同声明が発表されました。今後、間違った情報を是正していくために、社会に向けた広報活動は重要となります。われわれには業界を存続させていきながら新たな世代に引き継いでいく役割、使命があります。われわれ業界団体だけではなく、業界挙げてという意味でファン雑誌・WEBメディアの皆様にも共通の認識、同じ志を持っていただき、業界発展のために力をお貸し願いたい」とあいさつした。

「ニコニコ超会議2016」(4月29、30日、千葉・幕張メッセ)に出席する日遊協ブース「パチンコ&

パチスロフェスタ2016」と、4円パチンコの新たな市場開拓をコンセプトに日工組の複数メーカーが開発中の「ちよいパチ」のそれぞれ概要についての報告があった。

## 「アニメ、ゲーム機を」「効果的にちよいパチ」

このあと、出席者は2グループに分かれ、おもにフェスタを盛り上げるアイデア、協力法などについて意見交換した。同委員会では、

出された意見の中からその活用について検討していくとしている。

おもな意見として、「若い人たちはアニメ、ゲームに関心が高い。ニコ超会議に来る未経験者にパチンコを知ってもらいたいのであれば、試打遊技機は新台に固執せずその人たちが興味を引くであろう機械を用意すべきだ」「未経験者を掘り起こしたいのなら、ユーザー層を先ずターゲットにし、そのユーザーが連れてくる未経験者をつかむ。フェスタのブースでは未経験者を同伴したユーザーに玉やコインを倍貸しし、連れ打ちを疑似

体験してもらおう。未経験者には『ちよいパチ』を推すといい」「大きい台を特注して話題づくりにしてみたらどうか」などがあった。

情報交換会の目的は、ファンと一番近いメディアであるファン雑誌、WEBメディアとの意思疎通を図り、それぞれが得意なジャンルで業界を盛り上げるための協力を頼む。昨年8、9月にファン雑誌、WEBメディア別々に第1回の会合を開いた。今回は合同の会合で、通算2回目となる。

□出席社は次の通り。

(順不同、(株)略。カッコ内は

雑誌名又はサイト名)

ファン雑誌 辰巳出版(パチンコ必勝本、パチスロ必勝本ほか) ▼プラントピア(パチンコ攻略マガジン、パチスロ攻略マガジンほか) ▼ガイドワークス(パチスロ必勝ガイド、パチンコ必勝ガイドほか)

WEBメディア ▲プロテラス(ニコナナ) ▼ニフティ(777@nifty) ▼ゲンダイエージェンシー(パチ7) ▼t-style社(一撃) ▼バック・エックスイノベーション(一撃) ▼湘南エージェンシー(V-PRESS) ▼NEXT advance (FunTV)



活発な意見が飛び交ったファン雑誌・WEBメディアとの情報交換会

# 遊技産業新経営者会議

## 「人事・労務管理」を学ぶ 木下潮音氏が具体的に解説

第11回遊技産業新経営者会議(担当理事・韓裕副会長、リーダー・西村拓郎理事・東京都・関東支部長)が2月26日、東京・茅場町のニューギン東京ビルで開かれた。日遊協会員企業の



開会前に庄司会長(前列左から4人目)、韓副会長(同3人目)を囲んで



講演する木下潮音氏▶

若手経営者・幹部36人が出席し、講演、ディスカッション、懇親会が行われた。

冒頭、庄司孝輝会長が「業界は今、撤去など問題を抱えている」として、日工組の複数メ

ーカーが開発している「ちよいパチ」を例に挙げ、「V字に反転するために、もっとバラエティーに富んだ機械が出てこなければいけない」と述べた。韓副会長は「労働・雇用環境は今、変わり目のとき。労働環境をしっかりと整えることが重要な時期に来ている。今日は木下先生からいろいろ学んで帰ってほしい」とあいさつした。

第一芙蓉法律事務所弁護士、木下潮音氏が「企業の成長基盤となる人事・労務管理について」と題して講演した。木下氏は長時間労働問題の最近の動きと、労災認定や安全配慮義務等を説明した後、若年雇用促進法とブラック企業問題に触れ、ブラック企業といわれないため、上司と部下のコミュニ

ケーションのあり方、長時間労働や無休日労働を発生させないなど、6つの注意点を挙げた。最後に女性活躍推進法に関係して、従業員301人以上の企業の行動計画策

定義務などを解説した。続いて6班に分かれ、業界の諸問題についてディスカッションした。最後に懇親会を開いて締めくくった。

### 貯玉補償基金臨時社員総会・理事会 平木正則氏を理事に選任 補償結果、適用などを承認

一般社団法人貯玉補償基金(代表理事・庄司孝輝日遊協会長)は2月10日、日遊協本部会議室で第10期臨時社員総会を開いた。

第1号議案として平木正則氏(株)ジャパネットトワークシステム取締役の理事選任が提案され、全会一致で承認した。平木新理事は「不慣れな点もあると思いますが、職務を全うしたい」とあいさつした。

引き続き第67回理事会を開き、第1号議案の(株)

マンゲン補償実施結果、第2号議案として事故法人(熊本県)の補償適用を承認した。

第3号議案・平成28年度社員総会、理事会日程と第4号議案・貯玉補償基金広告掲載の件を承認した。

第5号議案で、理事を退任した末永洋一氏(株)ジャパネットトワークシステム専務取締役)の専務局長就任、佐々木敏栄氏(同経営企画本部副本部長)の事務局次長就任を了承した。

### MARCH

1日(火)	10:00~18:00	ばちんこ産業合同説明会(幕張メッセ)
3日(木)	13:00~15:00	広告協議会準備委員会(本部)
	15:30~17:30	東北支部健全化勉強会(パレスへいあん)
8日(火)	14:30~15:30	登録資格審査委員会(本部)
9日(水)	14:00~15:00	推進機構理事会(情報オアシス神田)
	15:00~16:00	推進機構臨時社員総会(情報オアシス神田)
10日(木)	15:00~17:00	関東支部健全化勉強会(アットビジネスセンター八重洲)
11日(金)	15:30~17:30	人材育成委員会(本部)
14日(月)	15:00~17:00	中古機流通協議会(日工組)
15日(火)	15:30~17:30	遊技機委員会(本部)
	15:00~17:00	中部支部健全化勉強会(アイリス愛知)
18日(金)	11:00~13:00	正副支部長会議(本部)
	13:30~16:00	理事会(本部)
	13:00~15:00	社会貢献・環境対策委員会(東京ビッグサイト)
22日(火)	13:30~14:30	不正対策室会議(本部)
	15:30~17:30	広報調査委員会(本部)
23日(水)	15:30~17:30	九州支部健全化勉強会(福岡県遊技会館)
24日(木)	15:00~17:00	中国・四国支部健全化勉強会(メルパルク広島)
30日(水)	13:30~15:00	RSN理事会(全日遊連)
31日(木)	13:30~14:30	リサイクル推進委員会(日工組)
	15:00~17:00	東京都・関東支部セキュリティ部会(本部)

### 3月の行事予定

くぎ問題で「質問主意書」 衆議院

## 撤去、制裁等4項目

## 答弁書 警察庁が健全化指導

初鹿明博衆議院議員（民主・維新・無所属クラブ）が1月19日、「不正パチンコ台の撤去に関する質問主意書」を衆議院に提出した。これを受けて政府は同月29日、安倍首相名で答弁書を提出した。

初鹿議員の質問は、「遊技くぎ問題」を報じた昨年12月24、25日付の毎日、朝日新聞の記事をもとに、不正改造をした台の撤去方法や不正を行った業者への制裁措置など4項目となっている。これに対して答弁書では、警察庁がホール関係5団体に対し可及的速やかに回収対象遊技機の撤去を要請しており、引き続きパチンコ業界を指導するなどして業界の適正化を推進していきたいと述べている。

不正パチンコ台の撤去に関する質問主意書

パチンコ台について、パチンコ関連の業界団体の呼び掛けで設立

された組織である「遊技産業健全化推進機構」が警察庁の要請により実施した調査において、全国の百六十一店舗のパチンコ台二百五十八台のうち、全ての台の釘の打ち方が違反状態であった旨の報道がなされています（『朝日新聞』平成二十七年十二月二十五日）。

この調査結果を受けて、警察庁はパチンコ店等の業界に不正パチンコ台の撤去を要請し、その数は数十万台に上るとみられます。

この現状を踏まえて以下、質問します。

一 不正改造をした台を放置しておくことは問題であるものの、直ちに全ての不正パチンコ台を撤去してしまうことは店舗側に与える影響が大きいと考えられるが、いつまでにどのような方法で撤去を行うのか。

二 警察庁は、メーカーの出荷段階でもくぎ曲げが行われている可能性があると、メーカーの業

界団体である「日本遊技機工業組合」に調査を指示し、その結果、メーカーの出荷時で、検定を通過したものは異なるパチンコ台があったと報じられているが（『毎日新聞』平成二十七年十二月二十四日）、それは事実か。

衆議院議員初鹿明博君提出  
不正パチンコ台の撤去に関する質問に対する  
答弁書

一から四までについて

一般社団法人遊技産業健全化推進機構における調査結果を踏まえ、警察庁から日本遊技機工業組合に

対し調査を依頼したところ、同組合から、ぱちんこ遊技機（以下「遊技機」という。）の製造業者が風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和二十三年法律第二百二十二号）第二十条第四項の検定を受けた型式に属する遊技機として出荷した遊技機の中に、出荷する時点において既に当該遊技機が属するとされた型式の遊技機と性能の一部が異なる遊技機が含まれていた可能性があることから、そのような遊技機について、今後、回収を進めていくとの報告を受けたものである。同組合

三 二が事実であれば、上記のような不正を行った業者に対して制裁措置は課さないのか。

四 このような不正行為を根絶していくためにどのような手段を取っていくのか。

右質問する。

において、現在、当該回収の対象となる遊技機について引き続き調査を実施しているものと承知している。

警察庁としては、全日本遊技事業協同組合連合会、一般社団法人日本遊技関連事業協会、一般社団法人日本遊技産業経営者同友会、一般社団法人余暇環境整備推進協議会及び一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会に対し、当該回収に最大限協力するとともに、可及的速やかに当該回収の対象となる遊技機を営業所から撤去するよう要請したところである。警察としては、適正な遊技機による営業がなされるよう、引き続き、ぱちんこ業界を指導するなどして、同業界の適正化を推進してまいりたい。

## セキユリティー対策委員会

### 置引き具体例を検討「保安員」の必要性 「顔認証」の課題も

第90回セキユリティー対策委員会（委員長・樋口益次郎日遊協副会長）が2月5日、東京・市谷の遊



の情報があり、2014年より657件増えたことを報告した。12月末の「くぎ問題」のマスコミ報道以降、1月に入って関連の入力が増えていることが併せて報告された。置引き対策について報告、討議が行われた。全日遊連から①犯人が徘徊し、遊技客のドル箱をキャ

リーごと足で空き台へ移動させ、清算した ②被害者をはさんで座り、ひとりがライターを落として遊技客に拾うよう頼み、その間もうひとりがカードを抜いた、など具体的な被害例が報告された。日

### ゴト対策4団体会議

### 「玉がかり」「電磁波」への対応協議

第61回ゴト対策に関する4団体会議が2月5日、東京・市谷の遊技会館で開かれ、全日遊連、日遊協、日工組、日電協をはじめ、オプザーバーとして全商協、回胴遊商、電遊協など49人が出席した。

日工組から「APPLESEED MR4VE」における油玉ゴトの報告があり、機械側では直接的な検出は困難であるため、ホールに対し不自然な行為やデータ異常の監視強化を要請した。

全日遊連からパチンコの「スーパー海物語」「仮面ライダー」などにおける玉がかりゴト、パチスロでは「アイムジャグラー」「カイジ」

遊協からは、神奈川県で置引きの統計的な報告とともに、顔認証の防犯利用についての課題について提起された。また、保安員の必要性についての意見も出された。「いわゆるゴト行為への迅速な対策を講じるためのガイドライン」の毎年の更新時期がきたので、各団体に承認の手続きを行うよう事務局から要請があった。

「モンスターハンター」への電磁波攻撃が報告され対応を協議した。日遊協からは「ヘブンブリッジDX2」への傾斜変更ゴト、「ユニバーサルスロット」への不正サブ基板ゴトが報告された。



ゴト情報を共有したゴト対策に関する4団体会議

日電協が「メインAT機のセキユリティー向上」と題して映像による解説を行った。AT機能がサブ基板からメイン基板に移行したことにより、サブ基板へのロム交換、ハーネスへの介入などのゴト行為は不可能になった。

### PSIO・不正対策室会議

### 「くぎ曲げ」情報増える

不正対策室会議（室長・伊東慎吾日遊協常務理事）は2月19日、日工組会議室で委員ら14人が出席して開かれ、PSIO（不正対策情報機構）への入力状況の報告を行い、ゴト・不正情報について協議した。

2016年1月のPSIOオープンネット（業界及び一般ファンからの不正情報）は、業界から53件、一般ファンから783件の入力があり合計836件となり、2015年1月と比べると266件増（2015年1月570件）となった。

ゴト情報ではパチスロの電磁波ゴト、パチンコの玉掛かりを中心の入力が続き、不正情報では、「くぎ問題」の社会的広がりを受けて、「くぎ曲げ」の指摘が増えている。この問題に関する今後の在り方などについて協議した。

▲上條さん(左2人目)、永元さん(同3人目)を囲んで。  
左、岸野東和産業社長、右、竹花丸の内消防署長



## 店の前で男性が倒れ意識不明

# 機転の手当で命助ける

## 東和産業の上條さん、永元さん

東和産業(株) (岸野誠人社長、本社・港区新橋)の上條和久さん、永元未里さんの2人が2月29日、急病で倒れた男性を応急手当で救ったとして、東京消防庁消防総監の感謝状が丸の内消防署、竹花署長から手渡された。

頭で見た永元さんがインカムでスタッフに報告し、自分はAEDを取りに走った。報告を聞いた上條さんは現場に急行した。男性は心筋梗塞らしく、上條さんは男性に意識・脈拍がないことを確認、通

## 全日遊連が「サミット自粛」を決める

# 5月2日から27日まで全国二斉に「入替」ストップ

全日遊連は2月12日、臨時全国理事会を開き、伊勢志摩サミット開催に伴う遊技機の入替自粛を決議、その旨を同日、日遊協など関係団体に連絡した。

決議内容は、①サミット開催に伴い、欧州、中東で頻発するテロを踏まえ、治安維持活動に問題が生じないよう、警察業務の負担軽減に協力して、遊技機の入替自粛を実施する ②全国一斉の遊技機の入替自粛期間は、平成28年5月2日(月)から27日(金)までとする

③首脳会議、関係閣僚会議の開催に伴い、期間の延長等、本決議以上の取り組みが必要な場合は、各

行人と3人で直ちに人工呼吸・心臓マッサージを施した。永元さんがAEDを持って駆け付けた。AEDを使いながら、さらに通行人が加わって心臓マッサージが続けられた。男性の意識は戻らなかったが、脈拍が戻ったことが確認できた。約10分後に救急車が到着し、男性を救急隊員に引き渡した。

日電協、全商協、回胴遊商、愛材協、遊技機メーカー12社)は2月2日、東京・京橋の日工組会議室で開かれた。遊技機リサイクル選定業者で更新申請のあった(株)ピースリサイクル東北(東北地区)を審査し、更新を認めた。選定業者は2月2日現在37業者となっている。

## 東京都・関東支部役員会「インバウンド」を検討 「健全化勉強会」の内容確認

東京都・関東支部役員会議が2月24日、本部会議室で開かれた。訪日する外国人観光客が年々増えていることを受けて、パチンコ業界、とくにホールでのインバウンド対応策を検討することになった。本部と東京都・関東支部が合同で3月10日に開催する健全化勉強会(中央区八丁堀「アットビジネスセンター東京駅八重洲通り」)の内容を確認した。テーマは遊技機流通関係規定及び日工組の「遊技く

さらに、入替自粛期間においては、警察官等が営業所に対する実地調査(いわゆる「警察検査」「入替検査」など)を行わずに済むように、変更承認申請の時期について配慮するとしている。

## リサイクル推進委員会

# 更新申請1社を承認

第79回遊技機リサイクル推進委員会(座長・堀内文隆日遊協専務理事。全日遊連、日遊協、日工組、

冒頭、本部・支部活動に長年貢献し、2月18日に死去した山内伸氏に黙とうを捧げた。

## 九州支部役員会 支部長に福山裕治氏

### 4月総会で選任を承認

日遊協九州支部は1月29日、福岡市の遊技会館で役員会(執行部会)を開き、樋口益次郎支部長以下15人が出席した。支部役員人事について、樋口支部長の後任に福山裕治副支部長を推薦することを承認し、4月の支部総会で選任することとした。新富商事、玉屋、ユーコーの社内人事により役員が交代することも了承した。同日行われる「健全化勉強会」の進行、4月の総会の内容などを確認した。

## 九州支部「健全化勉強会」 「くぎ問題」の課題で

### 本部、日工組が対応報告

日遊協九州支部は1月29日、福岡市の遊技会館で「支部健全化勉強会」を開き、ホール、販社の会員を中心に62人が参加した。来賓の庄司孝輝会長は「ひとつひとつの現象に左右されることなく、2年後3年後のビジョンを持ち、業界全体が共同認識を持って行動していく必要がある」とあいさつした。

日工組の渡邊圭市理事から「くぎ問題」の撤去機リストや新機種供給時期について説

明があり、茂木欣人風営法PTリーダーからは「くぎ問題」の声明発表経過、今後の課題が報告された。茂木リーダーは新台設置・部品交換の新ルール、依存問題の「自己申告プログラム」についても説明した。

## 中部支部「健全化勉強会」 「くぎ問題」を中心に

### 和やかに「新年祝賀会」も

日遊協中部支部は1月19日、名古屋ガーデンパレスで九州支部と同じ講師、内容の「健全化勉強会」(参加60人)と「新年祝賀会」(同50人)を開いた。「新年祝賀会」は冒頭に山口悟支部長が「課せられている課題について一致団結して取り組み、安心安全な遊技環境を作ることが重要だ」と挨拶し、なごやかに懇親に入った。

「くぎ問題」の課題で本部、日工組が対応報告

## 中部支部

## 暴力団対策室長が講演

### セキユリティー対策部会

日遊協中部支部は1月29日、名古屋市のアイリス愛知で「支部セキユリティー対策部会」を開き、山口悟支部長、内ヶ島隆寛部会長、中部遊商からは船戸良徳セキユリティー対策委員長ら25人が出席した。

愛知県警察本部組織犯罪対策課の今泉重紀暴力団対策室長が「最近の暴力団情勢につ

いて」と題し講演を行い、「取り締まりはさらに厳しく行われており、皆さんは勇気を持って対応するように努めてください」と強調した。

部員から最近のゴト情報が報告され、対策を協議した。

## 東北支部

## 支部総会など協議

日遊協東北支部は1月25日、仙台市の支部事務所支部長・事務所長会議を開き、当面の課題について協議した。支部総会は5月開催で調整、3月3日開催の「健全化勉強会」の内容、親睦コンペの4月開催などを確認した。

## 会員・業界消息

## 山内伸氏

(元日遊協消費税PTリーダー、都遊協副理事長)

2月13日死去。65歳。葬儀は2月18日、東京都小平市、おのやホール小平で執り行われた。喪主は長男誠氏。

山内氏はサンキョー(株)顧問、都遊協副理事長(第8ブロック協議会長)、東大和遊技場組合長。日遊協では東京都・関東支部活動のかたわら、明日の経営を考える委員会・消費税部会長、経営改革委員長を経て2012、13年に消費税PTリーダーを務めた。

# DATA SPOT

## パチンコ、パチスロともに前年に接近

全日遊連は2月25日、店舗数、遊技機台数の2016年1月分を発表した。店舗数は前月12月(1万325店舗)と比較して10店減になった。1万315の店舗数は年間ペースだと昨年1月(1万638店)と比較して、この1年間で323店舗マイナスとなり、300店舗以上の減少が9か月連続となった。

遊技機では、パチンコが1年間でマイナス2517台(昨年1月265万3593台)となり、一方パチスロ機はプラス1029台(昨年1月151万6969台)上回っている。数万台減が続いていたパチンコが前年レベルになり、パチスロは前年と変わらない台数に落ちてきた。今後の推移が注目される。<注>店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

## 貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	282	0
東北	608	0
東京	646	0
関東	1836	+4
中部	614	+2
近畿	1037	+1
中国	361	+1
四国	189	0
九州	719	+1
全国計	6301	+9

(2016年1月31日現在)

平成28年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			総台数
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	
1月	10,315	10	23	130 (8)	2,651,076	1,517,998	156	4,169,230

## 代表者変更

株式会社 玉屋

代表取締役社長・山喜多映一

11月29日

## 代表者、住所変更

株式会社 大和製作所

代表取締役・久岡征司

11月27日

KPE株式会社  
代表取締役・榎本真司

港区高輪3・5・25